

<資料 2-1> R2年度上半期実施状況について【幼年就学期部会】 テーマ：子どもと親の居場所づくり+(プラス)

基本理念

【幼年期】誰もが安心して子どもを生み育てることができ、子どもがいきいきと健やかに育つ環境を整えるために、家庭・地域・関係機関と連携しながら妊娠・出産・育児・就学前保育・教育を香南市がサポートしていく施策を展開します。また、香南市で子どもを生んで育てたいと思える環境づくりを展開します。

【就学期】豊かな心を持ち、たくましく健やかに子どもが育つ環境を整えるために、家庭・地域・関係機関と連携しながら、香南市がサポートしていく施策を展開します。また、地域社会の見守り、就学支援、質の高い教育環境を整えることなどによって、香南市で子どもを育てたいと思える環境づくりを推進します。

R2年度 部会で深掘りする問題点	R2.9月末までの取り組み状況	問題解決のための課題	R2年度今後(下半期)の取り組み	R6に 目指す姿
<p>【保育等の受入態勢】 (主体:こども課) 保育士不足などで、子どもたちの受入態勢に懸念が生じている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブ支援員の募集広報として、市内全小学校保護者へ募集チラシを配布(R2.7実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報手段の拡大(チラシ、口コミ) ・保育実習生などに働き甲斐のある魅力的な職場をPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・城山高校の取り組みをKCTVで放映。(KCTVと高校で別途調整) ・児童クラブ支援員に関し現支援員に募集周知の声かけ依頼、中学校保護者へ募集チラシ配布、KCTV番組放映。(R2.10実施) 	<p>プラス発信力(発信の仕方)</p> <p>◆子どもたちが安心して過ごせる「居場所」がある。</p> <p>◆その「居場所」を継続するためのサポート体制を構築する。</p>
<p>【外国人とのコミュニケーション】 (主体:教育委員会) 外国人移住者が増える中で日本語が十分でなくコミュニケーションが難しい人・地域があるので</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保幼での対応事例確認 ・高知県外国人生活相談センターでの対応業務の確認(人権課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・どういった困り事があり、対象者がどれだけいるのかを把握 ・誰に向けてどのような対策を講じるか焦点を絞る(主管課の決定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小中の先生などから、外国人保護者との面談等で得た困り事などの状況や支援施策を把握する(調査時期未定) ・翻訳アプリの活用、機器導入 	
<p>【公園の整備・周知】 (主体:建設課、部会事務局) 市内に遊べる公園が少ない。どんな公園があるのか知らない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園データの把握(建設課9月提供) 	<ul style="list-style-type: none"> ・お勧め公園の条件等の決定及び選定 ・手洗い場や駐車場等、設備情報を写真や動画で提供できないか検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・お勧め公園の条件等(駐車場、水道、遊具、東屋など)の確認と現状調査(R2.10~実施) ・子育てガイドブックの改訂時に、QRコード付きマップページを作成する。…R3年度発行予定 	
<p>【朝食の摂取】 (主体:健康対策課、学校教育課) 朝食を摂らない、摂れない子どもがいる。保護者に必要性を啓発しても改善されないケースもある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・YouTubeを活用して離乳食や簡単にできるレシピ等を情報発信する。(R2.6~実施) ・香南市食育推進検討委員会で「食育だより」(テーマ:朝ごはん)を作成し、市内の保幼小中の児童生徒に配布(約3,500枚) 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する情報をより多くの方に見てもらうために発信方法を工夫する ・小学5年生の朝食づくり事業を実施。(コロナの影響で今年度実施しない小学校有り) 	<ul style="list-style-type: none"> ・YouTubeでメニュー追加と啓発資料をあわせて情報発信する ・保護者に拡散してもらう工夫 ・「食育だより」は、継続して作成・配布する ・全小学5年生の朝食づくり事業を実施予定(2校、R2.10予定) 	

◆10/22 部会で「課題対応範囲が広すぎるため、部会としての取り組み内容から外し、別途、関係課で協議していく」ことを決定。

★R3年度バージョンアップ【PICK UP!】(案)

- ・学校教育環境の整備(拡充) …児童生徒のパソコン利用環境整備や学習活動の充実を図るため、教員をサポートするICT支援員を配置。
- ・「香南キッズ」サイト及び「子育てガイドブック」の改訂(拡充) …サイト見出し項目の再構築、写真・動画の配信強化、メッセージ配信への対応改修及び冊子作成。

<資料 2-2 > R2年度 実施状況について【成年熟年期部会】

テーマ：ウォーキング&サイクリングで健康増進

基本理念

【成年期】 誰もが参画できる地域社会を形成し、新たな出会いがあり、家庭を築き、安心して子どもを育てられ、生きがいを感じられる生活環境づくり、活気ある地域社会の形成を支援する施策を推進します。

【熟年期】 にぎわいとゆとりを感じ、健康で世代間交流や地域社会に貢献する喜びを感じられる環境づくりを推進します。

R2年度 部会で深掘りする問題点

R2.9月末までの取り組み状況

問題解決のための課題

R2年度今後(下半期)の取り組み

R6に目指す姿

【テーマの具体化】

(主体：部会事務局)
対象となる年代が幅広く、課題も多岐に渡るため、テーマを絞って協議を進める必要がある。

・7月の部会でテーマ「**ウォーキング&サイクリングで健康増進**」～いい汗かいて健康生活～に決定
・健康増進に向けて複数課で連携できる事業がないか検証し、生涯学習課と商工観光課で三世代交流サイクリング大会を実施することを決定した。

・この事業をイベント的な単年度事業とせず継続できる事業として、事業内容を充実させる必要がある。
・ケーブルテレビや新しい媒体(フェイスブック・ユーチューブ等)を使用した効果的な情報発信を行う必要がある。

・各課で行っているウォーキング、サイクリング事業が一覧で分かるパンフレットを作成。(2月予定)
・三世代交流サイクリング大会を11月29日開催

◆健康で楽しく地域で暮らすことができる。

◆住みたいまち、住んで良かったと思えるまちになる。

人口増につながる

【人権啓発】

(主体：生涯学習課、人権課)
新型コロナウイルス感染症や障害、様々な特性に応じた配慮等への理解が進んでいるとは言えない状況であり、今後も啓発が必要。

新型コロナウイルスに感染された方やご家族の方の相談については、赤岡、吉川市民館、人権課の窓口で相談を受け付けているが、高知県精神保健福祉センターなどの相談窓口も香南市HPや広報などで掲載をしている。また、人権侵害につながることはないよう人権の配慮について香南市HPや広報誌で啓発を行っている。

相談窓口体制の充実とコロナだけではなく、他の感染症に対する理解を深めていただくための研修会などを行う必要がある。

他課や関係機関との相談窓口と連携を密にしていく。また、企業人権連絡協議会と連携し「新型コロナウイルス感染症について」研修会を行う予定。

【移住促進】

(主体：地域支援課)
移住から定住、そして地域の活性化につながるため、移住・定住施策の効果的なPR、本気度の高い移住検討者の把握やアプローチ方法の検討が必要。

・ホームページ掲載情報のこまめな更新。
・新型コロナウイルス感染症対策のため、移住のオンライン相談窓口を開設。(R2.5.~)
・空き家バンク新規登録6件

・ホームページのアクセス数を増やすよう情報発信内容・方法を工夫する必要がある。
・コロナ禍でのオンライン相談業務を効果的に活用する必要がある。
・空き家バンク登録件数増加に向けた活用できる空き家の掘り起こしや、リフォーム等の補助制度の周知を図る必要がある。

・ホームページの次年度の一部改修に向けた見直しを行う。
・他課と連携した幅広い情報発信を行う。
・県や広域連携で行うオンラインを活用した事業への参加。
・地域(まちづくり協議会)と連携した空き家の掘り起こしに取り組みむとともに広報等により補助制度の周知を図る。

★ R3年度 バージョンアップ【PICK UP!】

- ・地域おこし協力隊起業等支援事業(新規) … 香南市に着任している地域おこし協力隊の起業等を支援するもの
1件上限100万円(補助率10/10以内) × 3人分
- ・結婚新生活支援事業(拡充) … 低所得者の婚姻に伴う新生活に係る生活支援を行うもの 1件上限30万円×10世帯分 補助率：国1/2,香南市1/2

基本理念

【高齢期】健康で長生きできる環境、地域交流や世代間交流を楽しめる環境づくりによって香南市に住んで良かったと思える、地域での支え合いのある安全・安心な環境づくりを推進します。

R2年度 部会で深掘りする問題点

R2.9月末までの取り組み状況

問題解決のための課題

R2年度今後(下半期)の取り組み

R6に目指す姿

【移動支援】

(主体:高齢者介護課・地域支援課)

「医療機関送迎サービス事業」については要支援1・2の方は自身で移動できる方もいるため対象になっていないが、対象に入れる必要があるのか現状把握が必要。

・R2年度赤岡町において民間デイサービス事業者が試験的にボランティアで、いきいきクラブの送迎をスタート。
・「医療機関送迎サービス事業」の対象者として検討するため、介護予防プランセンターのケアマネから要支援1・2の方のタクシー利用状況を調査した。



・要支援1・2の方では、自転車や市バス、病院の送迎バスを利用できる方もいるが、病院受診においては、タクシーの利用が一定数見受けられる。
・免許返納者も増えているので、対象を拡大することが生活支援・移動支援につながるのではないかと課題を挙げる。

・「医療機関送迎サービス事業」の対象に、要支援1・2の方を加えるかどうか、検討する。
・「住民主体の移動支援の受け皿づくり事業」は、10/17に運転者講習を実施。12月末までに視察研修(岡山県)を行う。

【ごみ出し支援】

(主体:高齢者介護課、環境対策課)

「高齢者(要支援・要介護)のごみ出しに困っている」という現場の声がある。
※当日8時までにゴミステーションに出す必要があり、ヘルパーが入る時間帯では間に合わない。

・南国市に戸別回収の方法について、聞き取りを実施した。
・介護予防プランセンターのケアマネから要支援1・2の方のゴミ出しの方法を調査した。
・ヘルパーを利用している方のゴミ出しの方法を調査した。

・実際に困っている人がどれくらいいるのか実人数や現状の把握
・関係課や関係団体との調整



・市関係課がシルバー人材センターに出向いて、委託の方法で回収ができるかどうか、10/19に協議した。
・回収コース、件数を一定想定するため、ケアマネからの情報により、該当者宅を地図に落とす。(11月実施予定)
・あらためて関係課とシルバー人材センターと実施方法を協議する。(11月中予定)

◆高齢となり、虚弱となっても認知症となっても、できる限り住み慣れた自宅でこれまでの生活を続けていける環境

◆地域での支え合いがあり、住んで良かったと思える環境

★ R3年度 新規事業・バージョンアップ【PICK UP!】

- ・医療機関送迎サービス事業(拡充) … 新たに要支援1、2の認定者を対象に加える。
- ・高齢者可燃ごみ戸別回収事業(新規) … 自力でゴミ出しが困難な要支援・要介護認定者宅のゴミの回収を週1回行う。
- ・地域おこし協力隊の雇用(新規) … 高齢者の移動支援コーディネーターとして1名雇用し、高齢者の移動・外出支援の受け皿づくりに取り組む。